

会員だより

國場川側道橋下部工工事！

工事名：平成 28 年度国場川側道橋下部工工事
工事場所：沖縄県島尻郡南風原町宮平地内
工期：平成 28 年 4 月 12 日～平成 29 年 3 月 31 日
発注者：沖縄総合事務局 南部国道事務所
請負者：牧港建設株式会社
現場代理人：島袋 竜希 監理技術者：川辺 将大

沖縄総合事務局南部国道事務所発注の「平成 28 年度国場川側道橋下部工工事」について紹介致します。
南風原町宮平地内の南風原バイパス事業の一部であり、側道橋(A1 橋台 2 基、A2 橋台 2 基)に加え、沖縄県管理の河川改修工事も含まれております。
施工に先立ち、磁気探査にて経路探査・鉛直探査実施後、異常点が複数確認され、確認探査を行ったところ、7月21日に不発弾発見(5 インチ艦砲弾)、8月22日にも2発目の不発弾(5 インチ艦砲弾)が発見されました。2 発目については空砲でその日の内に自衛隊により回収が行われましたが、1 発目については9月2日に現地にて不発弾処理を行い無事に完了しました。限られた工区から2発目の続出とあって、磁気探査の調査は万全を期した不発弾との戦いが続きそうです。
また、本現場では高校生(県立沖縄工業高等学校

牧港建設 株式会社 代表取締役社長 平良 平長

土木科3年生9名(引率教諭1名)の現場実習受入れを実施しております。
6月から12月にかけて15回の現場実習を行う予定で、これまでにパワーポイントを使用した講義、現場にて施工・測量の実習、ドローンを使用した航空写真による工事進捗確認を行ったところ、土木工事に魅力を感じ興味を持ってくださいました。
建設業界の若手技術者の確保が困難である実情は、支部だよりでも幾度となく紹介されてきました。当社としても現場実習受入をした効果を期待すると共に、気力に満ちた若い人たちが建設業界に興味を持ってもらえるような活動がこれからも必要だと実感しました。



発見された不発弾



高校生！現場実習訓練

会員

【ライトガード】！紹介

会員の皆様こんにちは。前回、弊社の水で固まる常温合材『マイルドパッチ』を紹介させて頂きましたが、今回は『ライトガード』を紹介させて頂きます。名前からするとどういった商品なのかさっぱりわからないと思いますが、完結に言うなら「水で固まる常温グーラスファルト混合物」です。皆さん御承知かも知れませんが、グーラスファルト混合物とはたわみ追従性や防水性に優れており主に鋼床版の橋面舗装に使用します。ただこの混合物の難点が普通のダンプトラックでは運搬できず、クッカーという特殊車両が必要です。そこで約2時間程度加熱するため時間がかかり、通常より高い温度で施工するため温度低下に時間がかかります。また、少量施工の場合には余った材料を廃棄しなければなりません。
弊社の『ライトガード』は1缶あたり23kg入りと



前田道路 株式会社 沖縄営業所長 山本 英嗣

少量で必要な量だけ使えます。施工は缶の中でバインダと硬化剤そして水を攪拌機で混ぜて施工箇所に流し込むだけ。クッカーは必要なく温度も常温で施工するため温度低下を待つ必要がなく30分程度で硬化します。また、NETIS登録もしました。少量での施工時や施工開放時間が短い場合などに使用してみたいはいかがでしょうか？



活動報告・トピックス



株式会社 國場組 企画・広報委員 久高 将一郎

建設業の魅力を伝えたい！

会員の皆様こんにちは、二年前のお話となりますが平成 26 年 11 月私の母校、沖縄県立西原高校の 40 周年祝賀会が開催されました。祝賀会の企画行事として卒業生による『職業人講話』と題し在校生に講話を行う企画があり、私も卒業生の一人として講話させて頂く機会がありました。

公務員、保育士、パティシエなど様々な職業に従事する卒業生がこれまでの職業経験について講話を行うのですが、私のテーマは『建設業の魅力について。』と題し教壇に立ちました。
始めに建設業の社会的役割として道路・港湾・空港など重要な社会資本整備を担う業界であることや、地震などの災害発生時には真っ先に現場に駆けつけ不通となった道路の復旧などに従事する事などを伝えました。

また、請負金額が億単位となる大型公共工事などに 20 代・30 代の若者が従事し、物作りの現場で活躍し技術を磨いていることや、ドリルジャンボ・シールドマシンなど特殊な建設重機を駆使して行うトンネル工事などを紹介すると、「建設業に入れば大きな重機の操縦ができるのか。」など質問を受ける場面もあり興味を示してくれる生徒もいました。

初めての教壇での講話に緊張し、準備した講話内容の半分も伝えられなかったと思いますがとても良い経験となりました。
今後も企画・広報委員の一人として建設業イメージアップのお手伝いが出来ればと思います。

①平成28年度 南・北両国道事務所 と道建協沖縄支部との意見交換会

円滑施工を推進、課題の解決に向け意見交換！

(一社) 日本道路建設業協会沖縄支部では、9月9日(金) 宜野湾市のカルチャーリゾートフェストーネで平成 28 年度南・北両国道事務所と道路建設意見交換会を開催しました。意見交換会には会員 30 社 32 名が参加しました。与那嶺支部長は「両国道事務所との意見交換は支部活動の中でも最重要活動と考えている。国からの時宜を得た指導、助言は必要であり、それぞれの立場から忌憚のない意見交換をお願いしたい」と挨拶しました。

喜舎場北部国道事務所長、上原南部国道事務所長の挨拶に引き続き各事業概要説明の後意見交換に入り、「入札及び契約に関すること」「現場施工上の問題」「安全管理上の問題」「積算上の問題・疑問」等について活発な意見交換となりました。総合評価方式においては企業の実績に重点を置き

今月の予定

- ①第3回技術・積算委員会 支部会議室
10月6日(木) 11:00～13:00
- ②第122回 道路美化・清掃活動
10月18日(火) 10:00～国道58号、329号331号
- ③第2回常任幹事会 支部会議室
10月25日(火) 12:00～13:30

ていることから実績の無い企業も施工計画(技術提案)など企業努力による受注機会の拡大要望については、施工計画重視型やチャレンジ型の試行を行っているがその効果等を把握し今後の対応を検討したいと回答しました。他にも、支部からは業界の実情を踏まえた発言があるなど、最後まで活発な意見が交わされ閉会となりました。意見交換会終了後に懇談会が行われ、会員各位と懇親を深めながら懇談会は盛会のうちに終了しました。懇談会に先立ち、日本道路協会道路功労者表彰の伝達式が行われ、平成 28 年度の道路功労者として照屋常夫氏(琉球開発(株))、神谷吉春氏(世紀東急工業(株))、新城登(株)第一三興建設)の3氏に表彰状と記念品が授与されました。



(各提案議題について意見交換を行う参加者！)



表彰を受け与那嶺支部長と記念撮影の皆様

②第121回 道路美化・清掃活動

第121回ボランティア活動を9月20日(火)に14社18名の参加で実施しました。暦の上では秋ですが、まだまだ残暑厳しい中での活動となりました。気持ちの良い汗をかくて無事終了しました。

